


ヒメシロアサザ	<i>Nymphoides coreana</i> (H.Lév.) H.Hara	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		ミツガシワ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(岐阜大学教育学部標本室)
形態の特徴	浮葉を形成する水生植物。浮葉は1-2枚出て、円形で基部は深い心形、長さ2-6cm、幅2-4cm。花冠は白色、深く5裂し、裂片の縁に毛がある。雄蕊は5本、花糸は短く、花冠の基部につく。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水田などに生育する。花期は7-9月。	
分布状況	朝鮮と中国にも分布し、日本では本州から沖縄までである。岐阜県では県南の南西部に僅かに見られる。	
減少要因	生育地の開発による埋め立てと、水質の悪化。	
保全対策	生育地の保全と、水質の改善。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘